

第12表 社会福祉施設数・収容者数

本表は生活保護法、児童保護法等によるもので各年とも12月末現在のものであるが、児童相談所は12月中の受付件数である。

区分	昭和38年		昭和39年			昭和39年		
	施設数	収容人員	施設数	大阪府が監督するもの	大阪市が監督するもの	総数	大阪府が監督するもの	大阪市が監督するもの
総数	532	-	535	346	189	-	-	-
養護老人ホーム施設	27	2 678	27	22	5	2 772	2 133	639
養護老人施設	7	122	7	6	1	467	426	41
救護生施設	9	1 098	9	1	8	1 874	254	1 620
宿所提供施設	5	734	5	0	5	813	0	813
授産施設	2	20	0	0	0	0	0	0
医療保護施設	19	1 627	18	13	5	1 591	1 271	320
婦人保護施設	5	196	4	4	0	111	111	0
乳児院	6	207	6	3	3	222	48	174
精神薄弱児施設	42	3 169	42	29	13	3 042	735	2 307
精神薄弱児施設	8	440	8	5	3	442	165	277
精神薄弱児通園施設	2	63	2	2	0	21	21	0
教護院	2	288	2	1	1	272	123	149
肢体不自由児施設	2	135	2	2	0	142	142	0
ろう哑児施設	1	24	1	0	1	33	0	33
ろう哑児施設	1	27	1	0	1	38	0	38
児童厚生施設	29	-	30	23	7	0	0	0
助産施設	7	19	7	4	3	55	19	36
母子寮	26 446世帯	1 328	25	20	5	559世帯	1 874 415世帯	1 367 144世帯
児童相談所	319	19 127	324	199	125	23 206	14 287	8 919
児童相談所	7	1 028	8	7	1	795	283	512
身体障害者施設	3	111	3	2	1	117	90	27
精神薄弱者援護施設	1	70	2	2	0	105	105	0
結核回復者後援施設	2	91	2	1	1	86	72	14

資料 大阪府民生部社会課、婦人児童課、大阪市民生局庶務課。

第13表 結婚あつせん状況

本表は「厚生省報告例」にもとづいて作成された各年度中のものである。

年次	相談件数			申込件数			照会組数 (見合)	成立組数
	総数	男	女	総数	男	女		
昭和35年度	16 486	7 050	9 436	2 570	936	1 634	2 524	190
36	16 596	7 557	9 039	2 709	1 096	1 613	2 312	186
37	20 586	9 302	11 287	3 255	1 308	1 947	2 512	232
38	22 526	10 206	12 320	3 586	1 410	2 176	2 986	205
昭和39年度	24 668	11 196	13 472	3 275	1 284	1 991	2 906	204

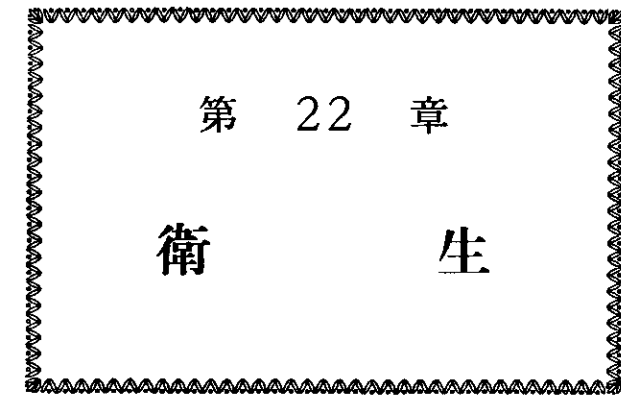
資料 大阪府立結婚相談所。

第14表 共同募金額・配分額

各年とも募金額には前年度配分不要繰越金・配分額には経費充当額、次年度運動準備金、繰越分配金を加えられていない。ため両者の数字は一致しない。

区分	募金額				区分	配分額			
	昭和36年	昭和37年	昭和38年	昭和39年		昭和36年	昭和37年	昭和38年	昭和39年
総額	88 438	102 996	122 096	115 195	総額	73 125	86 278	105 095	95 974
戸別募金	58 549	65 762	73 107	75 874	社会福祉施設	26 486	28 976	27 352	29 825
法人募金	7 550	10 792	7 106	9 091	保育所託児所	3 798	3 478	3 372	5 004
学校職域募金	5 758	5 963	6 368	6 526	隣保館児童館遊園地	2 231	2 813	3 051	3 218
街頭募金	3 485	4 461	4 900	4 600	社会福祉事業団体	1 455	1 700	1 700	1 930
パッチ収益金	8 514	9 135	9 386	16 016	府市社会福祉協議会	5 350	5 950	5 994	7 158
その他	3 632	6 853	21 229	3 088	更生援護資金	7 468	7 445	7 510	7 474
					地域社会福祉協議会	24 151	31 519	35 980	39 756
目標額	86 000	75 000	75 000	75 000	その他	2 185	4 397	20 136	1 609

資料 社会福祉法人大阪共同募金会。



第22章 衛生

病院、病床等の概況

府下の医療施設(病院、一般診療所、歯科診療所)の数は7,384所で、前年より101所増加し、昭和39年人口10万に対して114施設、1医療施設あたり877人となり昨年の845人に対して32人の増となっている。医療施設総数7,384所の内訳は、病院378所、一般診療所4,864所、歯科診療所2,142所ありこれ等の有する病床総数は約6万床、前年の5万8千床より2千床増加し、人口10万に対し927床、1病床あたり人口は109人で前年と全く同じである。さらに病床総数の88%を占める病院の病床数5万3千をその区分によってみると一般病床77.3%、結核病床9.4%、精神病床12.2%、伝染病床1%弱で、結核病床は年々2.3%減少を示してきたが対前年比は30%もの減である。それに対し精神病床は年々増加を示し対前年比は11.1%の増である。これは最近とみに精神衛生に対して社会の関心が高まって来たためと考えられる。

昭和39年の在院患者数(診療所は含まない)は延べ1,695万3千人で、1日あたり4万6千人強で、その内訳は一般病床2万4千人強、精神病床結核病床とも1万1千人弱で伝染病床は110人である。

新入院患者数は年間34万1千人で、その1日あたりでは935人となる一方、年間外来患者延数は、2352万人と人口増加とあいまって漸増しており1日あたり6万4千人となり昨年より3千人の増加を見せている。

医療関係従事者のうち府下医療施設に従事する医師は7,784人、同じく歯科医師2,597人、薬剤師3,008人(医療施設以外の従事者を除く)となり、人口10万に対する医療施設に従事する医師は120人、同じく歯科医師40人、薬剤師46人となって医師、歯科医師については殆んど変わらない。薬剤師については例年と数字のとらえ方が少しちがうため多少増加している。

死亡の概況

出生率は年々増加の傾向を示しているが、死亡総数は年間36,424人で人口千人に対し35年6.4人、36年6.2人、37年6.2人、38年5.7人、39年5.6人と、減少の傾向にあって平均余命も年々延びて来ている。

死亡数の上位10傑を病名別にみると、

- 「中枢神経の血管損傷」の7千人弱(19.2%をトップに
- 「悪性新生物」 6.5千人(17.9%)
- 「精神病の記載のない老衰、診断名不明確不明の原因」

- 「動脈硬化性、変性性心臓疾患」 2.8千人(7.8%)
- 「自動車事故および不慮の事故」 2.1千人(6.0%)
- 「結核」 1.8千人(5.1%)
- 「肺炎」 1.3千人(3.6%)
- 「自殺自傷」 1千人(3.0%)
- 「高血圧性心臓疾患その他の高血圧疾患」 987人(2.7%)
- 「新生児固有の疾患、性質不明の未熟児」 783人(2.2%)

の順になってこれらで死亡者総数の76%強を占めそのうち47.6%が成人病といわれる死因である。また「自動車事故」「不慮の事故」は人災でありながら以然として減少しない。「結核」も年々減って来たもののこのところ横ばい状態で依然として5位に位している。

伝染病患者の概況

府下における39年の法定指定伝染病患者は1,843人で、この5年間3千人から4千人あった中で極めて少数である。その主な病名別人員数は、赤痢1,053人(57%)、しょうこう熱513人(28%)、日本脳炎113人6%がその主なもので、その他にジフテリア102人が数えられる位である。

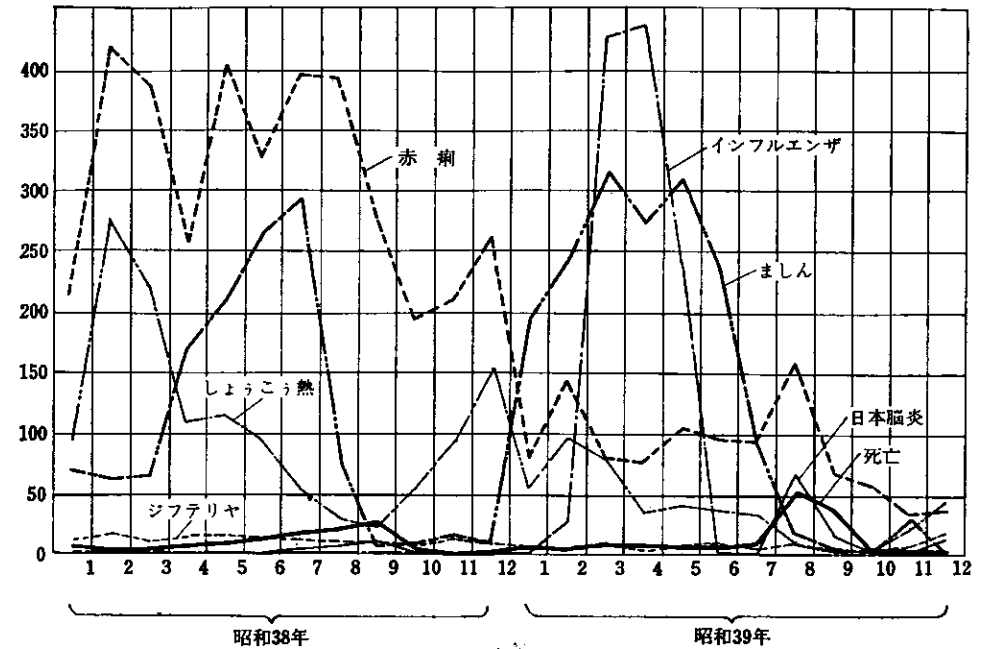
体格

身長は発育は年々著しい伸長をみせ、前年度と比べても高等学校女子を除き各年令とも伸びなかでも中学校男女生徒とも約1cm近く大きくなり、年々大型化してきている。

体重についても身長と同様の傾向を示し、一般に中学時代が最も大きな増加量を示し、13歳男子では前年度13歳男子と比べて2.5kgも増加しており各年令を通じて一番多い。

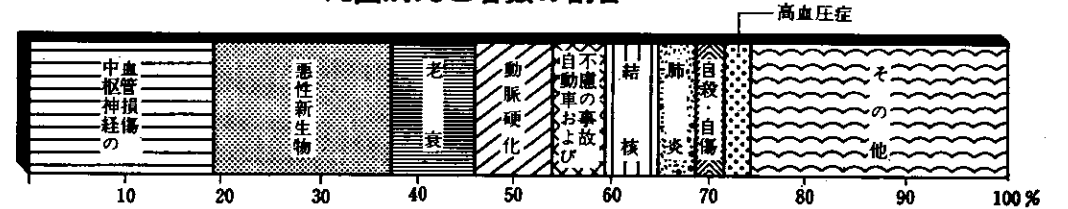
胸囲、座高は全般的に伸びが少なく、幼稚園3才児については一まわり小さいのが目立つ中学校以上の生徒については伸びも大きく、高校生については1cmの伸びがみられる。

伝染病による罹患数と死亡者総数



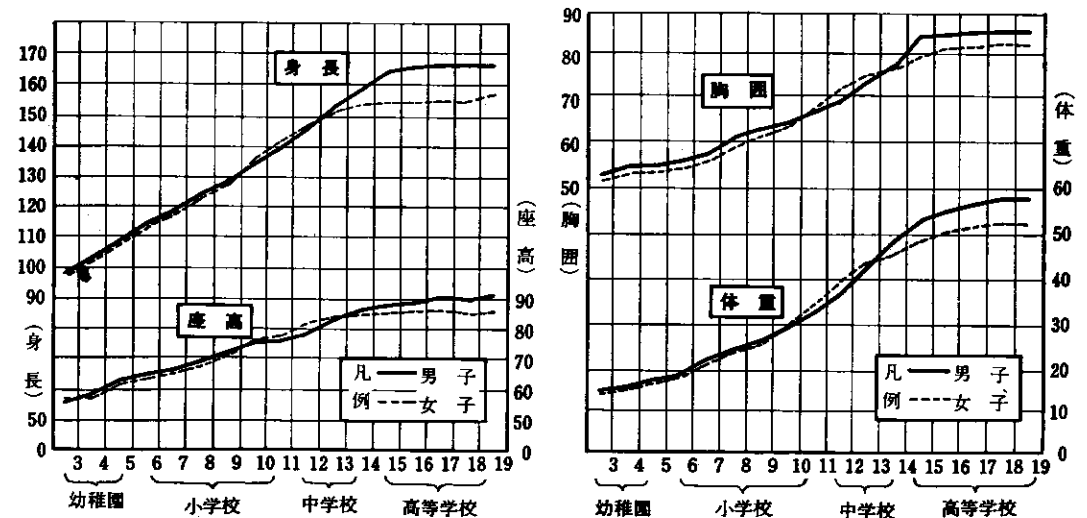
死因別死亡者数の割合

第24表参照



年令別に見た幼児・児童・生徒の平均体位

第25表参照



第1表 病院・診療所数および病床数

本表の数字は「医療施設調査」によるものである。なお、「病院」とは患者20人以上の収容施設のあるものをいい、「診療所」とは患者の収容施設をもたないもの、または患者19人以下の収容施設しかもないものをいう。らい療養所は該当がないので省略した。

Table with columns for year (昭和35-39), hospital types (精神病院, 結核療養所, 伝染病院, 一般病院), and medical facilities (一般診療所, 歯科診療所, 性病病院). Includes sub-columns for total, facilities, and beds.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、「衛生年報」

第2表 医師・歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・獣医師数

本表の医師、歯科医師、獣医師数は医師法、歯科医師法、獣医師法にもとづくそれぞれの届出数を集計したものであり、歯科衛生士、歯科技工士数は「厚生省報告例」によるもので従業地主義をとっている。ただし獣医師数は居住地主義である。

Table with columns for year (昭和35-39), medical professions (医師, 歯科医師, 獣医師, 歯科衛生士, 歯科技工士), and their respective counts.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、「衛生年報」同農林部畜産課、

第3表 薬剤師・保健婦・助産婦・看護婦・準看護婦・看護人数

本表の薬剤師数は薬剤師法にもとづく届出数を集計したものであり、保健婦、助産婦、看護婦、準看護婦、看護人数は「厚生省報告例」によるものであり、いずれも従業地主義によるものである。なお37年の助産婦の※印は37年8月「開業助産婦実態調査」にもとづくものである。

Table with columns for year (昭和35-39), professions (薬剤師, 保健婦, 助産婦, 看護婦, 準看護婦, 看護人), and their counts.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、「衛生年報」

第4表 その他の医療、衛生関係従事者数

本表の診療X線技師、衛生検査技師数は「医療施設調査」による従事者。衛生管理者数は労働基準法による免許証所有の医師でない選任者。栄養士数は「栄養士法」による届出数を集計したもの。乳業士数は「乳業の販売及び取扱に関する条例」(大阪府)による甲種、乙種の免許証所有者。眼鏡士数は大阪目衛生協会への登録者。調理師数は「調理師法」にもとづく免許証所有者。あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師は「厚生省報告例」によるものである。

Table with columns for year (昭和35-39), other medical professions (診療X線技師, 衛生検査技師, 衛生管理者, 栄養士, 乳業士, 眼鏡士, 調理師, あんま師, はり師, きゅう師, 柔道整復師), and their counts.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、同食品衛生課、同予防課、大阪労働基準局。

第5表 病院の在院患者延数および病床利用率

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、在院患者延数は毎日午後12時現在に在院している患者数を1年分合計したもの。病床利用率は(1日当たり平均在院患者数/6月末病床数)×100である。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year (昭和35-39), hospital types (精神病床, 結核病床, 伝染病床, 一般病床), and inpatient statistics (延数, 利用率).

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第6表 病院の新入院患者数および外来患者延数

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、外来患者延数は来院、往診、巡回診療をした患者延数で、同一患者が2つ以上の診療科で受診した場合それぞれ1として計上してある。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year (昭和35-39), hospital types (精神病床, 結核病床, 伝染病床, 一般病床), and patient statistics (新入院患者数, 外来患者延数).

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第7表 人工妊娠中絶件数

本表の数字は優生保護法にもとづく医師の届出票を集計したものである。

Table with columns for year (昭和35-39), age groups (20歳未満, 20~24歳, 25~29歳, 30~34歳, 35~39歳, 40~44歳, 45~49歳, 50歳以上), and abortion statistics.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「人工妊娠中絶半年報」

第8表 食品衛生関係営業施設数

本表の数字は大阪府内における許可を要する営業施設および要さない営業施設の数であるが許可を要さない施設については概数である。

Table with columns for year (昭和35-39), food hygiene facilities (飲食店, 喫茶店, 菓子製造業, アイスクリーム類, 市乳(乳類)販売業, 食肉販売業, 魚介類販売業, 清涼飲料水製造業, 水雪販売業, みそ、醤油、ソース製造業, 酒類製造業), and their counts.

資料 大阪府衛生部食品衛生課。「厚生省報告例」

第9表 と畜場・牛乳処理業数、と畜・乳牛検査頭数 および狂犬病予防状況、ねずみ捕獲数

本表のと畜場数、と畜検査頭数、狂犬病予防状況は「厚生省報告例」によるものである。ねずみ捕獲数は本府でまとめた数字である。

Table with columns for year, number of farms, inspection counts for various animals, and rat capture numbers.

資料大阪府衛生部食品衛生課、同環境衛生課、同農林部畜産課、厚生大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第10表 環境衛生関係営業施設数および従事者数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。客室については概数である。

Table with columns for year, types of facilities (lodging, public bath, etc.), and number of staff.

資料大阪府衛生部環境衛生課、大阪市衛生局環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第11表 環境衛生関係営業施設数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。但し、くず物関係営業施設数は「大阪府くず物営業取締条例」にもとづく許可施設数である。

Table with columns for year, types of waste management facilities, and their counts.

資料大阪府衛生部環境衛生課、大阪市衛生局環境衛生課「衛生行政業務報告」

第12表 結核予防法による健康診断状況

本表は「保健所運営報告」によるもので、結核予防法にもとづく定期、定期外の合計である。

Table with columns for year, number of examinees, and results of tuberculosis health checkups.

資料大阪府衛生部予防課、厚生大臣官房統計調査部

第13表 性病、予防接種、寄生虫、トラホーム予防状況

本表は「保健所運営報告」によるものである。予防接種被接種者数は予防接種法にもとづく定期、臨時の合計である。寄生虫検査の有卵者数のうち、1人で2種以上にわたるものはそれぞれに計上してある。

Table with columns for year, types of diseases, vaccination counts, and parasite inspection results.

資料大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「保健所運営報告」

第14表 衛生検査延件数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table with columns for year, total number of cases, and counts for various types of health examinations.

資料大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第15表 薬事関係業者数

本表欄頭の医薬品販売業のうち「一般」とは総ての医薬品について販売できる薬剤師の管理している業者「薬種商」とは法律に定められた指定医薬品を除くものの取扱をする業種商の資格のある業者、「配置」とは置き薬として認められた置き薬業者「特例」とは法律で定められた特定の品目のみを取扱う資格を要さない業者()内の数字は内数で衛生材料製造業

Table with columns for year, types of pharmaceutical businesses, and their counts.

資料大阪府衛生部薬務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第16表 麻薬中毒者数

本表は本府でまとめた数字である。

Table with columns for year, total number of cases, and counts by age group and gender.

資料大阪府衛生部薬務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第17表 個別健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

保健所運営報告によるもので、計数は各年中における保健所内および所外の合計数である。なお、1)には婦科および性病診断を含む。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (総回数), total number of patients (総人員), and breakdown by category (結核, 成人病, 母子, 療育その他).

資料 大阪府衛生部衛生総務課(衛生年報)

第18表 集団健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

前表頭を参照。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (総回数), total number of patients (総人員), and breakdown by category (結核, 成人病, 母子, 療育その他).

資料 大阪府衛生部衛生総務課(衛生年報)

第19表 市区町村別公害防止条例に基づく届出件数と公害防止陳情件数

本表は各年度ごとに本府でまとめたもので、公害防止条例による届出件数の欄「取りやめ」とは欄頭「新設、増設、変更等」の作業をするにあたって公害防止条例にもとずき届出たがそれらを取りやめる届出をしたという意味である。

Table with columns for city/ward/village (市区町村), number of reports (届出件数), and number of petitions (公害陳情件数).

第 20 表

法定・指定伝染病患者

本表の数字は医師の届出数を集計した「伝染病統計」によつたもので概数である。患者は真性のみ、死亡にコレラ、痘そう、発しんチフス、ペストが法定伝染病としてあるが各年とも該当がないので省いた。

Table with columns for year/month, total cases, and specific diseases like Cholera, Typhoid, etc.

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生年報」「伝染病簡速統計週報」

第 21 表

届出伝染病患者数、罹

前表頭注参照のこと。なお、黄熱、狂犬病、つづが虫病、回帰熱、住血吸虫病は各年とも該当がないので

Table with columns for year/month, total cases, and specific diseases like Malaria, Measles, etc.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣統計調査部「衛生年報」「伝染病簡速統計週報」

数、罹患率および死亡者数

者は疑似を含んでいる。罹患率は人口10万対で表わしているが各月については算出してない。また、この外

Table with columns for diseases like Paratyphoid, Typhoid, etc., and their respective incidence rates and deaths.

患率および死亡者数

省略した。罹患率は人口10万対である。

Table with columns for diseases like Influenza, Measles, etc., and their respective incidence rates and deaths.

第 22 表

性病・結核・らい・食中毒患

前表頭注参照のこと。なお、全結核は本省発表の確定数であるが、その内訳は本府で集計したものである。

Table with columns for year/month, sex, and disease categories (Total, Syphilis, Gonorrhea, Chancroid, and Leprosy). Rows include annual data for 1935-1939 and monthly data for 1939.

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣統計調査部「衛生年報」「伝染病簡速統計週報」

第 23 表

市 郡 別、年 齢 階

本表は「人口動態調査」によつた府下在住の日本人にかんするもので府外で死亡したのも含まれる。

Table showing population statistics by city/county and age group (0, 1-4, 5-9, 10-14, 15-19, 20-24, 25-29, 30-34). Rows list various municipalities and their respective counts.

資料 大阪府衛生部医務課「人口動態統計票」

者数、罹患率および死亡者数

るため、32年、33年、34年の死者数の計は合致しない。罹患率は人口10万対である。

Table showing death counts and rates for tuberculosis, pneumonia, other causes, leprosy, and food poisoning. Columns include patient count, incidence rate, and number of deaths.

級 別 死 亡 者 数

な昭和39年の数字は本府で集計した概数で住所地に紐替のため作業におくれがあるので国の発表した数とは若干合わない。

Table showing death counts by age group (35-39, 40-44, 45-49, 50-54, 55-59, 60-64, 65-69, 70-74, 75-79, 80+, and undetermined). Rows list counts for each age group.

第24表

月別、死因別

本表は「人口動態調査」によつた府下の日本人にかんするもので、府外で死亡したものも含まれる。なお

Table with columns for cause of death (死因), total deaths (総数), and monthly deaths (1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月). Rows include categories like tuberculosis (結核), pneumonia (肺炎), and accidents (交通事故).

死亡者数

死因分類は国際疾病、傷害および死因統計分類にもとづいている。

Table showing monthly death counts (死亡者数) by month (2月 to 12月) for the year 1939 (昭和39年). Rows correspond to the same categories as the first table.

第 25 表

幼児、児童、生徒の平均体格

本表は「学校保健統計調査」による府下学童の平均体格を示しているが、この調査は府下学校数から、昭和39年については幼稚園10分の1、小学校18分の1、中学校12分の1、高等学校10分の1の無作為抽出によるものである。なお、昭和25年はしっ普調査である。

Table with columns for Age (年齢), Sex (性別), Height (身長), Weight (体重), Chest Girth (胸囲), and Seat Height (座高). Rows include data for Kindergarten (幼稚園), Elementary School (小学校), Middle School (中学校), and High School (高等学校) from 1950 to 1964.

資料 大阪府企画部統計課。

第 26 表

幼児、児童、生徒の比体重、比胸囲、比座高

前表類注参照のこと。比体重=体重/身長×100 比胸囲=胸囲/身長×100 比座高=座高/身長×100 で小数点2位を4捨5入してある。

Table showing ratios of weight, chest girth, and seat height for children and students from 1950 to 1964, categorized by age and sex.

資料 大阪府企画部統計課(学校保健統計調査)

第 27 表

幼児、児童、生徒の疾病異常該当者率

前表類注参照のこと。但し、本表は受検人員に対する該当者率を示す。該当者率は小数点2位を四捨五入してある。なお、ゴシツク体は受検率である。

Table showing the percentage of children and students with various diseases and abnormalities, categorized by school level and sex.

資料 大阪府企画部統計課(学校保健統計調査)

第20表 摂取栄養量(1人1日当り)

本表は「国民栄養調査」によるもので調査時期は年4回5、8、11月および翌年2月の各月とも連続した3日間の状況で年平均である。39年からは法規則の改正により年一回となった。栄養量はすべて調理による損耗を考慮していない。昭和29年3月および39年栄養価算定の成分表の改訂が行われた30年以降は鉄の数値に変動がある。39年以降ビタミンAの数値が変わった。

Table with columns for year (昭和24年 to 昭和39年) and nutrient types (純熱, 蛋白質, 脂肪, etc.). Rows list various nutrients and their intake amounts in different units.

資料 大阪府衛生部食品衛生課「国民栄養調査」

第21表 府県別医療施設関係者数

本表は各年末現在数で、1)、2)、3)は実態に従事するものである。4)は「医療施設調査」によるものであるが、ここでは歯科診療所を含まない。

Table showing medical facility related personnel counts by prefecture and year. Columns include medical staff, dentists, pharmacists, and nurses. Rows list prefectures like 昭和33年, 34年, etc., and specific prefectures like 北海道, 青森県, etc.

資料 厚生省大臣官房統計調査部「医師、歯科医師、薬剤師調査」「医療施設調査」(日本統計年鑑)

第23章

司法および警察